



日本キリスト教団  
**三軒茶屋教会**

# 三軒茶屋 教会通り

〒154-0024  
東京都世田谷区三軒茶屋 1-31-5  
TEL/FAX: (03)3418-4933  
発行: 三軒茶屋教会 広報部

第29号 2007年4月発行

〒154-0024  
東京都世田谷区三軒茶屋 1-31-5  
TEL/FAX: (03)3418-4933  
発行: 三軒茶屋教会 広報部

人間が生まれながらにして持っている、人間らしく生きる権利、すなわち「基本的人權」という言葉があります。現憲法の前文に掲げられている重要な概念の一つです。これは聖書の思想から生まれた「人間の尊厳」を、一八世紀に止揚し確立されたもので、現代を生きる私たちにあっては必須のテーマと言わねばなりません。

ところで、過去の歴史において、洋の東西を問わず、キリスト教を含む諸宗教は多くの過ちを犯してきました。就中、人間につきまとう格差を看過し、それを

再生産さえしてきたのです。人権侵害、人権蹂躪という言葉があります。が、人への差別・偏見は宗教者だから解決済みとはいかなかったのです。日本の歴史の中でつくられた構造的身分的「部落差別」問題は、今日も続いています。一九七九年、米國プリンストン大学で開かれた世界宗教者平和会議で、日本の仏教者がおこなった差別発言がきっかけで、その後、「同和問題に取り組む宗教教団連帯会議」（略称・同宗連）が発

足しました。その決意に曰く、「ここに改めて深き反省のうえに、教えの根源にたちかえり、同和問題解決への取り組みなくしては、もはや日本における宗教者たりえないことを自覚し」と。宗教者が部落差別を始めたとする、あらゆる差別の解決・解消に向けて行動を起こしていくことを全国に向けて約束したのでした。これの発足より四半世紀がたち、同宗連に集う各宗教教団の皆さんは真剣に学び行動しています。

## 分け隔てなき世を

牧師 陣内厚生

私たちは、聖書に立脚する者としていかなるスタンスをとるべきでしょうか。旧約には社会的弱者への徹底した配慮の教えが出ています（出エジプト記二二ノ二〇以下）。主イエスは、当時の社会で差別され嫌われていた多くの徴税人や罪人らと食事をされました。（マルコ福音書二ノ一五以下）。また最も辱められ貧しかった重い皮膚病を患っていた人（同一ノ四〇以下）、その他多くの悪霊にとりつかれた人びと、障害を負っ

ていた人びとなどを相手にされました。パウロは、「もはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません」（ガラテヤ三ノ二八）と。これらの言葉からもわかるとおり、人の出自、容姿、職業などを、人間関係の妨げにはなりません。

\* \* \*



閑話休題。先日東京同宗連主催のフィールドワークがあり、「浅草の部落と関東の部落」というテーマのもと、浅草北部一帯を廻りました。最後に小塚原刑場のあった南千住の回向院というお寺を訪ねました。そこは江戸時代に二百

年間に亘り二〇万の犯罪人が処刑された所で、部落の人が死骸処理にあっていたのです。時の医学者、杉田玄白、中川淳庵、前野良沢らは「ターヘル・アナトミア」なるオランダ語の解剖書を携えて小塚原を訪れ、腑分けを見学したことから、日本の近代医学の創世記にも相当する「解体新書」の翻訳本完成に至ったのでした。一七七四年。実に部落の人たちの医学への隠れた偉大な貢献があったのです。

1